

## 2-2 整備・保全・利用の方針

- 1.水質の浄化に取り組みます。
- 2.野鳥の生息する貴重な自然環境を保全します。

## 2-3 具体的な方策として

- ・各家庭や企業で水を汚さない工夫
- ・井殿井、羽場など段丘崖や淵のあるところでの現環境の保全
- ・流域住民のモラルの向上  
などが考えられます。

## ゾーン名 3.【横川川ゾーン】

### 3-1 ゾーンの特徴

- ・清流が守られており、全体に貴重な動植物が生息しています。
- ・駒沢川流域にはため池があり、用水の確保が重要な課題となっています。
- ・落葉広葉樹が多く、秋の紅葉など、自然の緑の景観が非常に美しいところです。
- ・横川ダムができて水量が安定しましたが、河床の低下や、ヨシや灌木が繁茂しているところがみられ、そのために川に近付きにくくなっています。
- ・河床低下は、橋脚の洗掘などの治水面でも問題となっています。

### 3-2 整備・保全・利用の方針

- 1.清流と貴重な動植物を保全します。
- 2.自然を壊さずに、子どもたちがそのままの自然とふれあえる川にします。
- 3.流域の住民と行政が協働で整備や管理を行っていきます。

### 3-3 具体的な方策として…

- ・広葉樹が美しい山の整備と保全
- ・水辺の築校など、子どもたちが自然とふれあえる場の整備
- ・河川用地に余裕のあるところでの流域住民と行政の協働による整備
- ・ごみ拾い、ヨシの伐採、河川敷の樹木の管理など、流域住民と行政の協働による管理
- ・流域住民のモラルの向上(景観住民協定など)  
などが考えられます。

## ゾーン名 4.【沢川ゾーン】

### 4-1 ゾーンの特徴

- ・箕輪ダムの上流部には広葉樹林が広がっており、良質な水を供給しています。
- ・箕輪ダムは流域住民の水道水源であり、生活に密接している大切なダムです。
- ・箕輪ダムの下流部では水量が少なくなっています。

### 4-2 整備・保全・利用の方針

- 1.おいしい水を確保します。
- 2.ダムの下流部での安定した水量を確保します。

## 4-3 具体的な方策として

- ・箕輪ダム上流部の広葉樹林の保全、整備
- ・開発行為が水質に影響を与えない工夫
- ・ダムを利用した、河川として必要な流量の確保
- ・流域住民のモラルの向上  
などが考えられます。

## ゾーン名 5.【農耕地ゾーン】 (上竜グループ全体の農耕地をイメージ)

### 5-1 ゾーンの特徴

- ・諏訪湖には、都市からの汚染物質や、後背地の農耕地より農業や化学肥料等で汚染された水が流入しており、水質の汚染が問題となっています。
- ・西天竜堰、東天竜堰などの取水堰があり、天竜川が農業生産上も大切な役割を担っているところです。
- ・水田を中心とした農耕地が広がっており、農耕地には化学肥料等により水質を汚染している問題もありますが、反面水田を通ることにより浄化されるという効果もあります。
- ・西天竜用水には、家庭からの雑排水が流入しており、水質の汚染が問題となっています。

### 5-2 整備・保全・利用の方針

- 1.水質の浄化に取り組みます。
- 2.農耕地の治水、浄化機能を再認識し、計画的に農耕地を保全、整備します。
- 3.環境保全型の農業をめざします。
- 4.環境への負荷を抑えた循環型社会の構築をめざします。

### 5-3 具体的な方策として

- ・農業用水路や減反地を利用した植物等による水質浄化
- ・化学肥料や農薬を過度に使わない農業
- ・水質浄化の技術の工夫と利用  
などが考えられます。

